演者：大谷直輝（東京外国語大学）

演題：用法基盤モデルと構文文法：談話から生じる言語考える

日時：2020年2月21日（金）16:00～18:00

会場 [illegible] J304教室

本発表では、言語知識は言語使用の中で繰り返し使われるパターンが定着することで生じると考える用法基盤モデルの観点から、英語の構文が持つ談話機能について考察を行う。構文に関する知識が言語使用の場から創発すると考えると、構文には内容的な意味以外に、談話における様々な関係性を示す機能が定着していると考えられる。本発表では、英語における談話的な機能を持つ2つの構文（better off構文、aside構文）を考察することで、構文の分析には、文を超えた談話レベルの要素を考慮することが必要であることを示す。